

芦屋市谷崎潤一郎記念館 現地講座

谷崎の愛した京の豪邸

「夢の浮橋」の舞台になった非公開の潺湲亭
お昼は下鴨茶寮の京料理をご用意します

せんかんてい



写真左上：潺湲亭玄関 右上：潺湲亭書斎
左下：庭から母屋を望む 右下：潺湲亭路地と中門



下鴨茶寮

谷崎文学と名建築にふれる現地講座

谷崎潤一郎が戦後暮らし、小説の舞台に描いた名邸

「潺湲亭（せんかんてい 現・石村亭）」（京都市左京区）を訪ねます。

「潺湲亭」は世界遺産の下鴨神社・糺の森の隣に位置し、築100年を超える閑静な邸宅で、2000平方メートルもの敷地には、池を中心に御殿風の母屋や書斎、茶室などが巡らされています。

谷崎は1949年から1956年まで暮らし、「少将滋幹の母」「新訳源氏物語」「鍵」などを執筆。静岡県熱海市に引っ越した後も、愛着は深く、小説「夢の浮橋」の舞台にするほどでした。

普段は非公開のため、解説付きでゆっくり見学できる貴重な機会です。名建築と京料理の老舗「下鴨茶寮」にて季節のお弁当をお楽しみ下さい。

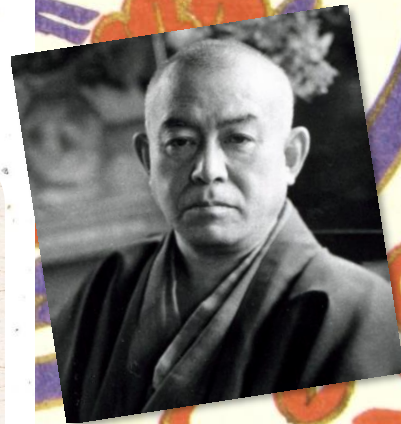
日程：11月8日（金）

10:20 または 11:20

出町柳駅前（京阪電車⑥号出口）集合

定員：26人（申込み順）

受講料：9,000円（食事代、レクチャー含む。交通費は自己負担）



谷崎潤一郎（芦屋市谷崎潤一郎記念館蔵）

潺湲亭訪問に際する注意事項

写真・動画撮影不可。

飲酒後の訪問は禁じられています。ご了承下さい。

申込・お問い合わせ

芦屋市谷崎潤一郎記念館

<http://www.tanizakikan.com>

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12の15 TEL 0797(23)5852 FAX 0797(38)3244